



消防学校

コース

平成30年5月15日発行



ホース、ロープ、飲料水、非常食などを入れ、約20kgの重量となるリュックサックを背負う

学校から
浜石岳を望む

第1回野外訓練

特集号

浜石岳登頂

訓練当日、午前9時40分撮影



雨ニモ負ケズ



頑張ってきた...



初任科第89期134名の挑戦!

全体目標

「134の心ひとつにテッペン」

班別目標

1班	「最後まであきらめない」	4班	「ケガなく事故なく完全制覇」
2班	「安全・確実・迅速に!!力を合わせて完歩」	5班	「絆」
3班	「辛い時こそ元氣よく」	6班	「支えあい 助け合う」

初任科生はそれぞれ自身の目標も設定しました...

5月10日 (木)

天気：晴れ時々曇り一時雨

6:00	起床
6:20	日朝点呼、日直・寮直交代
6:50	朝食
7:00	教官集合
7:30	集合(屋外訓練場)・出発式
8:00	出発
17:00	学校到着



全行程約30km

	行程	距離・時間
1	消防学校 → 薩埵峠駐車場 8:00 出発 8:40	3.0km 40分
	(第1回休憩 15分)	
2	薩埵峠駐車場 → 由比駅東公園 8:55 9:35	3.2km 40分
	(第2回休憩 15分)	
3	由比駅東公園 → 浜石岳広場 9:50 11:10	5.9km 80分
	(第3回休憩 15分)	
4	浜石岳広場 → 浜石岳山頂 11:25 12:05	山道ルート 40分
	(第4回休憩「昼食・写真撮影」45分)	
5	浜石岳山頂 → 浜石岳広場 12:50 13:35 浜石野外センタートイレ休憩(15分)含む	山道ルート 45分
	(第5回休憩 10分)	
6	浜石岳広場 → パーベキュー場 13:45 14:25	3.6km 40分
	(第6回休憩 15分)	
7	パーベキュー場 → 由比駅東公園 14:40 15:10	2.3km 30分
	(第7回休憩 15分)	
8	由比駅東公園 → 薩埵峠駐車場 15:25 16:05	3.2km 40分
	(第8回休憩 15分)	
9	薩埵峠駐車場 → 消防学校 16:20 17:00	3.0km 40分



出発式

屋外訓練場に全員整列！



「校長訓示」

この野外訓練の目的は、消防職員が消防活動を遂行するために必要な「体力と精神力、そして共同精神」の涵養にある。
入校して約1か月、現時点での「自分」をしっかり認識すること。
初任科第89期生の本日のミッションは、134名で本校を出発し、所定のルートで浜石岳山頂へ到達した後、予定の時刻に134名全員が無事帰校すること。ミッション達成のために何が必要か、身をもって学ぶこと。
6か月間の教育訓練の序盤の山。今後につながる成果を得てほしい。

澤野校長

「担当教官指示事項」

この1か月間、新しい環境の下、日々の訓練を行ってきた成果を発揮させるときがきた。
細かいことは言わないが、全員で協力し、事故なくこの場所に戻ってくること！

諸星主査

「ストレッチ・体力練成」



樋渡総代

初任科第89期総代の樋渡勝志(富士)は、4月27日の初任科生による選挙で選出されたばかり。総代として初めての大事な仕事である。

「総代から一言」

なぜ自分は消防士になったのか、もう一度思い起こせ！
“心ひとつに”全員完歩を目指すぞ！

「出発！」





国道52号線

興津川



薩埵峠駐車場



第1区間終了
1回目の休憩へ





峠を下り
由比の町

由比駅東公園

第2区間終了
由比の町を北上し
いよいよ浜石へ...



ただ
ひたむきに

登る!



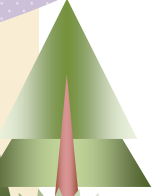
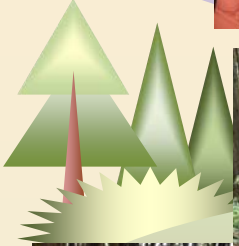
ただひたすら
歩く!





浜石岳広場

いよいよ
てっぺんを
目指す!
足の具合は...



山道ルートに 突入!



森の中の静寂...そして、初任科生たちの息づかい

全行程約30km



前前には
その先へ

浜石岳頂上へ到着!!



12時55分、途中2名のリタイアが発生してしまったが、何とか浜石岳の頂上に到着した。
まだ道半ば、おいしいお弁当を食べて、体力回復を図れ!



待ちに待った
お弁当だあ!



後半も下りはいえ初任科生たちにとっては厳しい行程です。が、残念ながら諸事情により御案内は省略します。
コメン



エネルギー充填!

一気に学校への到着場面へ…

午後5時50分、予定の時刻より50分の遅れで野外訓練隊が約10時間の行程を経て学校へ戻ってきた。正門で迎える初任科生たちの顔、顔、顔…。“意気揚々”“”と言いたいところだが、さすがに疲労が滲み出ている顔が多い。往路でリタイアした者2名。隊列を組んで帰ってきた初任科生はその数132名であった。



訓練の最後もきちんと整列…



最後尾のグループが教官たちに見守られながら戻ってきた。



出迎いの校長の前を静かに通り過ぎていく。

「教務課長訓示」

第1回野外訓練、お疲れ様！

出発式での校長訓示にあった“全員完歩”は残念ながら達成できなかった。第2回では第89期生全員が完歩できるように、さらに体力練成に努めること。今日のところは身体を十分に休めなさい。ただし、災害はいつ起こるか分からないので、次の準備を怠ることがないように！ 以上！



本日の野外訓練では、途中リタイアした初任科生2名のうち1名を現場から病院へ搬送するという事態となった。幸い大事には至らなかったが、常に危険は付きまとう。適切な「予防」と「処置」、「安全」を確保するための「安全管理」の徹底は最重要課題だ。消防学校は、国民の生命、身体、財産を災害から保護する消防職員であるところの初任科生や教官達の生命、身体を守らなければならない…。



編集・発行/ 静岡県消防学校 〒424-0211 静岡市清水区谷津町 1-577-1
☎ 054-369-1190 FAX; 054-369-1197 E-mail; fd-school-somu@pref.shizuoka.lg.jp

★「消防学校ニュース」は静岡県ホームページの消防学校の案内・紹介のところに掲載しています。過去の分を含め、どうぞ御覧ください。

静岡県消防学校

検索

